



## ミン・ヨンチ

李朝雅楽部養成所の脈を受け継ぐ国立国楽高等学校、ソウル大学音楽学部国楽科を卒業後、国楽室内管弦楽団スルギドゥン、パーカッショングループ PURI で活躍する。現在 PROJECT SANTA として公演やイベントなどを開催・出演、また TORI ENSEMBLE ではニューヨークやヨーロッパを中心にジャズとの即興音楽を試みている。2010年1月スイス・ダボスで行われた世界経済フォーラム(ダボス会議)での晩餐会「コリアン・ナイト」では伝統音楽を基調とした音楽パフォーマンスを担当し高い評価を得た。

## 特別ゲスト



## イ・グァンス

藝人イ・グァンス。1957年、明寺党(ナムサダン)に入門し国楽の道を歩み始める。「サムルノリ」創造者であり、ピナリの名人。1970年代「サムルノリ」は、世界的に著名な音楽家たちと積極的に交流し「サムルノリ」を韓国伝統音楽の一つのジャンルとした。現在、(社)民族音楽院 院長、大佛大学校 演戯科 学科長などを兼任する。



## ウヒ

3歳よりクラシックバレエ、10歳より韓国舞踊を始める。韓国政府招請奨学生、ロータリー財団国際親善奨学生として国立ソウル大学教育学部修士課程に留学中、創作舞踊、宮廷舞踊、またミュージシャンとのコラボレーションやファッションショーなど他ジャンルの舞台に取り組む。舞台経歴には2002年 FIFA ワールドカップ韓国広報芸術チーム・ヨーロッパツアー公演、KBS 国楽管弦楽団定期公演などがある。



## ミン・ソンチ

大阪に生まれる。ソウル大学音楽学部国楽科卒業。重要無形文化財第46号ピリおよび大吹打履修者。21世紀ピリ音楽研究会会員。ソウル市国楽楽団ピリ副主席歴任。現在ソウル市国楽楽団員。韓国、日本を拠点に演奏活動を展開し、海外の民俗音楽フェスティバルにも多数参加している。ミン・ヨンチの兄。



## シン・ヒョンシク

韓国の三大コンクールとして知られる「全州テサスプノリ大会」で大統領賞を受賞し、兵役免除者として若くして頭角を現す。2002年 FIFA ワールドカップ韓国広報芸術チーム・ヨーロッパツアーでミン・ヨンチが SANTA を立ち上げ、その初代メンバーとして参加した。2008年「サムルノリ」創造者の一人キム・ドクスの舞台「キル」で音楽監督を、現在「プロジェクト・シナウィ」の代表を務める。



## コウ・キョンボン

大学在学中にサムルノリに会い衝撃を受ける。その後、1998年自身のグループを結成し積極的に演奏活動を行ってきた。2002年から PROJECT SANTA で出演するようになり、現在、100人での打楽器チャンゴ演奏を目指すイベント「サタデーチャンゴフィーバー!」など PROJECT SANTA の企画制作なども担当している。2009年自身のソロ公演「FIRST CONTACT」を大阪で行う。

## 福岡特別ゲスト



## キム・ミヒャン

在日韓国人3世として京都に生まれる。幼少の頃、日本で祖国の音楽を聞き衝撃を受け、高校を卒業と同時に単身韓国へ渡り、伽倻琴を金静子(国立ソウル大学教授)に師事。ソウル大学音楽学部国楽科卒業。現在は福岡にてアルム韓国音楽研究所を主宰し伽倻琴の指導を行っている。また、ジャズやクラシックなど様々なジャンルの音楽家との共演も精力的に行っており、1996年アクロス福岡にて初めて日本の箏とのコラボレーションを実現し好評を博した。

## 福岡特別ゲスト



## 河原抄子

東京芸術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業、東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻研究正修了。大学在学中に『宮城賞』、1999年賢順記念全国箏曲コンクール『奨励賞』受賞。2003年東京と福岡にて「河原抄子 箏・十七絃リサイタル」、2004年東京と福岡にて「河原抄子 十七絃リサイタル」を開催し、その後ドイツやスイス、韓国などでも招聘公演を行った。日本と韓国の「箏・琴・こと」コンサートを企画主催し2006年に福岡で、2008年ソウルで開催する。

### 福岡 大濠公園能楽堂



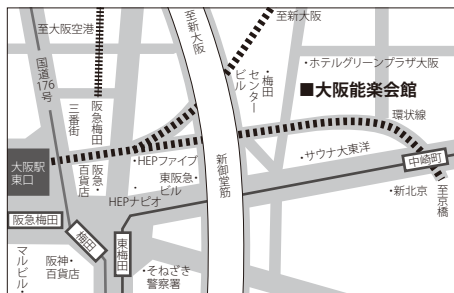
福岡県福岡市中央区大濠公園1番5号 TEL 092-715-2155

地下鉄：大濠公園または唐人町下車徒歩7分

西鉄バス：黒門バス停下車徒歩5分

昭和バス：西公園バス停下車徒歩5分

### 大阪 大阪能楽会館



大阪府北区中崎西2-3-17 TEL 06-6373-1726

JR 大阪駅(東口)より徒歩10分

阪急梅田駅より徒歩7分

地下鉄谷町線中崎町駅(4番出口)より徒歩5分

### 東京 青山鏡仙会能楽研修所



東京都港区南青山4-21-29 TEL 03-3401-2285

地下鉄「表参道」(銀座線・千代田線・半蔵門線)

A4出口より徒歩3分